

現場部局

水道局 経理部

スタートアップ

株式会社知財図鑑

協働テーマ

市場調査やマッチング先候補を簡単に調査可能なツール等を導入し、水道局が保有する知的財産を活かしたい！

■ 現場課題

課題詳細

水道局は、民間企業との共同研究等を通じて多数の知的財産を保有しているが、市場ニーズが十分に把握されておらず、知的財産の活用に向けた検討が十分に進んでいない現状にある。そこでAIを活用して網羅的に用途を探索し、収益化の可能性が高い「有望市場」を特定すること、および職員が自律的に市場調査を行える環境を構築することを目標とした。

課題解決による 想定成果・効果

今まで特許技術の解説・他社特許リサーチ・市場規模分析・活用先アイデアの創出に多大な時間がかかっていたことが短縮できる。
専門知識を持たなくても、特許技術についての知識や理解が深まる。
関連市場や主要プレイヤーの動向について、簡単に調査ができる。

■ プロジェクト概要

課題に対する ソリューション

知財活用プラットフォーム「ideaflow」に追加機能を開発して導入。AIが知財をもとに多様なビジネスアイデアを大量に生成する。生成されたアイデアの「新規性・市場性・実現性」をスコアリングしてマップ化することで、人間では思いつかない有望な活用領域を効率的に発掘する。それらをもとに特許・アイデア分析レポートの作成やメディアでの情報発信などを行なう。

協働 プロジェクト 内容

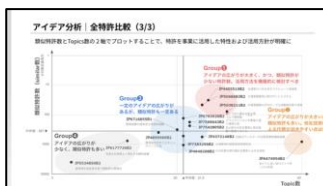
- ①職員向けにideaflow内に特許分析ツールを開発・提供し、業務への定着を検証した。
- ②水道局が保有する14件の特許から2,800件のアイデアを生成・評価し、特許の新用途を発見するための分析レポートを作成し、技術理解を促進した。
- ③知財メディア『知財図鑑』で特集記事を公開し、技術の未来像をビジュアル化して発信し、共創への興味関心を募った。

成果

プロジェクトの結果、水道技術が「インフラ維持」だけでなく半導体データセンターや飲食工場、エンタメ施設などに貢献できる高付加価値な資産であることが提案された。
特集記事は短期間で2,500PVを超え、潜在顧客へのリーチに成功。
職員アンケートでも「技術への理解が深まった」「視野が広がった」等の回答が高評価（平均3.79/5点）となり、組織内の知財活用マインドの醸成に役立った。



特許分析・市場調査を行うための機能追加を実装



特許・アイデア分析を実施し、約100Pにわたる詳細レポートを作成



知財図鑑での特集ページを作成し、ユニークなアイデアを発信